



平塚の教育と文化の父 ^{さくらい}桜井 ^{いさむ}諄 氏

桜井先生は、平塚の「教育・文化の父」と言われた人である。明治38(1905)年神奈川県師範学校を卒業し、大正9(1920)年平塚町立平塚尋常高等小学校長となり、以後13年間、平塚の小学校教育につくされた。昭和4(1929)年平塚町が須馬町と合併するや全域一校の特設高等小学校を建議し、実現させ昭和6(1931)年その初代校長となった。戦後、昭和22(1947)年時の柿澤市長の要請により、平塚市学務課長に就任。昭和27(1952)年には、平塚市図書館の初代館長となった。氏は、また郷土資料の編さんにも尽力された。これらの功績により、昭和41(1966)年勲四等瑞宝章を受章されたが、惜しくも昭和47(1972)年12月ご逝去された。



1 略年譜

- 1885(明治18)年 4月21日 高座郡海老名村(現 海老名市)上今泉の漢方医・桜井慶山の三男として誕生
- 1901(明治34)年 4月 1日 神奈川県師範学校入学
- 1905(明治38)年 3月31日 同校卒業。同日付をもって小学校本科正教員の免許状を取得し、高座郡藤沢尋常高等小学校訓導(高等科正教員)として勤務
- 1907(明治40)年 5月15日 高座郡綾瀬尋常高等小学校訓導
9月13日 同校の校長に就任
11月26日 同村立実業補習学校長を兼務
- 1920(大正 9)年 3月31日 中郡平塚尋常高等小学校訓導兼校長となる。
- 1926(大正15)年 6月30日 平塚町立青年訓練所主事兼指導員の嘱託を受ける。
12月25日 大正天皇崩御。昭和と改元。
- 1931(昭和 6)年 4月10日 平塚町立特設高等小学校訓導兼校長、同町立公民学校長、同町立女子専修学校長となる。(初代)
- 1933(昭和 8)年 9月30日 同校退職
- 1935(昭和10)年 5月 1日 神奈川県教育会主事となる。
- 1940(昭和15)年 8月26日 神奈川県知事より、紀元二千六百年記念聖蹟顕彰委員、神奈川県郷土誌編さん委員の嘱託を受ける。
- 1944(昭和19)年 9月 1日 大日本教育会神奈川県支部総務部長となる。
- 1947(昭和22)年 2月15日 神奈川県教育会事務局長となる。
5月12日 平塚市学務課長となる。
- 1951(昭和26)年 12月 3日 平塚市教育研究所長を兼務
- 1952(昭和27)年 2月 2日 平塚市図書館長(初代)となる。

- 1956 (昭和31)年 3月 平塚市図書館長を退任し、同館内にある郷土文化研究室にて高瀬囑託員及び資料調査員と共に平塚市史の編さん事業に従事する。
- 9月30日 平塚市事務吏員を辞す。
- 10月 1日 平塚市史編さん事務の囑託となる。
- 1958 (昭和33)年10月11日 平塚市文化財保護委員となる。
- 1961 (昭和36)年10月10日 同委員を辞す。



桜井先生喜寿碑 (崇善小学校)

- 1962 (昭和37)年 4月21日 桜井先生喜寿碑除幕式挙行 (市立崇善小学校校門前)
- 1966 (昭和41)年 5月 勲四等瑞宝章受章
- 1968 (昭和43)年11月 神奈川文化賞 (第17回) 受賞
- 1972 (昭和47)年12月16日 永眠 (享年87歳)

2 特設高等小学校創設

平塚町は、昭和4 (1929)年4月1日須馬町を合併し、新制・平塚町となり、3年後の4月1日に市制を施行したが、当時の小学校は、須賀に第二尋常高等小学校 (現、港小学校)、馬入に第三尋常高等小学校 (現、松原小学校)、それに本宿と新宿の境界地 (現、市民センターの所) に第一尋常高等小学校 (現、崇善小学校) があった。しかし、大正末から人口急増により、当然ながら児童数も年々増えていった。特に、第一尋常高等小学校の生徒数は、1学年10クラス500名、6学年全体で3000名、さらに高等科2年までの生徒数300名を含めると全生徒数3300名という全国屈指のマンモス校であった。



平塚町立特設高等小学校

そこで、この解決策として本宿地区に小学校をもう1校新設することであったが、当時の第一尋常高等小学校長の桜井氏は、全く別のことを考えていた。それは、小学校の高等科を切り離し高等科だけの独立した学校をつくり、より一層キメの細かい高度な教育をしてみたいという画期的な考えであった。氏の熱意に動かされた町は、昭和6 (1931)年4月八幡山の砂丘に続く浅間山の松林を削って新たに平塚町立特設高等小学校を開校した。校長には、桜井氏が就任し、敷地8000坪に赤いスレート瓦ぶき木造2階建て校舎2棟と講堂、さらに1周300メートルの運動場をもつ立派な学校であった。また、同校には、町立公民学校と町立女子専修学校が併設された。

3 初代図書館長

昭和22(1947)年5月、桜井氏は柿澤市長の招きにより、平塚市学務課長に就任しさらに、昭和27(1952)年2月平塚市図書館の初代館長となった。同図書館は、GHQの強い要請により、昭和23(1948)年4月旧海軍火薬廠図書館内(RC2階建て100坪)に開館はしたものの、肝心の資料が皆無であったため、広く市民に対して一戸一冊寄贈運動を実施し急場を凌いだ。一方、図書館規則や館内閲覧規定等を制定し、同年10月29日に図書館設置申請許可がおりた。(神奈川県指令社教第556号)昭和25(1950)年4月図書館法が公布され、これを受けて同年11月平塚市図書館条例が制定された。こうして開館以来4年が過ぎ一段落した昭和27(1952)年2月、桜井氏が初代図書館長に就任した。氏が、館長在職時で特筆すべきことは、館外個人貸出の実施と図書館報の発行である。館内閲覧は、開館以来実施してきたが、昭和27年4月に貸出文庫(団体貸出)と同年7月に館外個人貸出を開始した。これは、図書館法公布に促されたものであった。当時の記録によれば個人貸出は、市内に在住・在勤・在学の満16歳以上(高校生以上)を対象に1人1冊2週間、団体貸出は、市内で10人以上で組織された団体に1回40冊1ヶ月間貸出した。



カウンターの様子



文化の花園

当時の個人貸出登録者数は580名、団体貸出登録数は15団体であった。また、図書館が江陽中学校構内にあることを市民は知らなかった。そこで市民に図書館の存在をPRするために、昭和28(1953)年10月に、図書館報「文化の花園」を発行した。配布先は、文化団体、学校、官庁、工場、美容院、理髪店など市民の集まる機関とグループであった。氏は、昭和31(1956)年3月図書館長を退任されたが、郷土資料の編さんにも大変力を注いだ。主なものは、「平塚小誌」(1952年)、「崇善小学校史」(1953年)、「平塚市風土記抄」(1958年)、「平塚市戦歿者名鑑」(1959年)、「平塚市傷痕軍人名鑑」(1961年)などである。

以上のように、氏は長年にわたり教育者としての功績及び教育・文化への貢献顕著により昭和41年(1966)5月勲四等瑞宝章を受章し、昭和43(1968)年11月には、第17回神奈川文化賞も受賞したが、惜しくも昭和47(1972)年12月26日に永眠された。

(参考文献)

「平塚市の教育と文化の父桜井先生に感謝して」

	桜井 先生に感謝する会	1962年
「文化の星」81	神奈川県	1981年
「神奈川年鑑」昭和43年版	神奈川新聞社	1968年
「崇善小学校史」	平塚市立崇善小学校	1953年
「平塚小誌」	平塚市	1952年
「創立50周年記念誌」	神奈川県立高浜高等学校	1984年
「広報ひらつか」昭和37年5月	平塚市	1962年

たくさんのご来場ありがとうございました。

今年のリサイクルフェアは、10月31日(水)に開催され、たいへん多くの皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。

当日の来場者は1,300人を越え、約19,600冊の本をお持ち帰りいただきました。



年末年始の図書館休館日のお知らせ

12月28日(金)～1月4日(金)まで、市内の図書館は全館年末年始の休館(移動図書館も含む)となります。新年は1月5日より、通常どおり開館いたします。

12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
		×	×	×	×	×	×	×	×			×	

...開館日 ×...休館日



とくまかえQ&A

Q：特別整理期間ってなんですか？



A：蔵書点検という作業を行います。

まず職員全員で本やビデオなどのバーコードを機器でなぞってデータをためます。この作業を書庫も含めて全館で七十数万冊行い、図書館に在庫していることになっている本のデータと点検したデータを照合します。

照合できなかった本が不明資料として出てきます。何度か探しますが、残念ながら毎回不明になる本が出てきます。あるはずの本がしかるべき場所にないと、利用される皆様にご迷惑をかけます。休館でご不便をおかけしますが、ご了承ください。

利用統計

個人貸出状況 (平成13年度4月～11月)

区分	中央	北	西	南	BM	合計
入館者数	286,695	112,032	133,519	118,175		650,421
貸出点数	346,140	147,418	223,588	238,522	26,490	982,158
登録者数	62,571	12,465	17,675	11,279	6,823	110,813

資料統計

蔵書数 (平成13年11月末現在)

区分	中央	北	西	南	BM	合計
図書	307,710	106,158	137,956	110,418	39,128	701,370
うち児童書	60,580	40,893	62,091	40,391	17,472	221,427

視聴覚資料 (平成13年11月末現在)

16ミリ映画フィルム	627	ビデオ	19,518
CD	19,898	LD	1,607

編集後記

お天気マークの『晴れ』とっても暖かくそしてうれしい季節になりました。久しぶりの冬の『移動図書館あおぞら号』にドキドキな日々を過ごしております。どうか暖かい日に恵まれますように、間違っても巡回日は雪が降りませんように！『ねばぎば』の精神で冬乗り切りましょう！（I）

中央図書館 (31)0415
北図書館 (53)1232
西図書館 (36)3555
南図書館 (21)3080